

鳥取市教育ビジョンを策定しています

鳥取市の明日を担う人づくりのために

変革の時代

今日、少子高齢化や核家族化、都市化、情報化の進展など、子どもを取り巻く環境は大きく変化してきています。

今の時代にあって、心身ともに健やかな子どもを育み、鳥取市の明日を担う人材を育成することは、市民共通の願いです。本市教育委員会では、教育関係者や保護者、学識経験者や民間人などで構成

意外な調査結果

昨年11月に、一般市民・保護者・教職員・児童・生徒の約3500人を対象に、「鳥取市の教育に関する意識調査」を実施しました。

調査対象者のうち、「一般・保護者・教職員」を「大人」、「児童・生徒」を「子ども」として集計すると、その結果に特徴的な傾向が浮かび上がりました。

まず、「問1 鳥取の子どもたちの特徴は？」という設問について、「大人」は「消極的」「人前で意見が言えない」という印象を持つのに対し、「子ども」は自ら「積極的」ととらえています。

「鳥取市の教育に関する意識調査」から (平成20年11月実施)

問1 鳥取の子どもたちの特徴は？

大人の意識

- 素直
- 正直
- 思いやりがある

よいところ



子どもの意識

- 思いやりがある
- 協調性がある
- 積極的

大人の意識

- 消極的
- 我慢できない
- 人前で意見が言えない

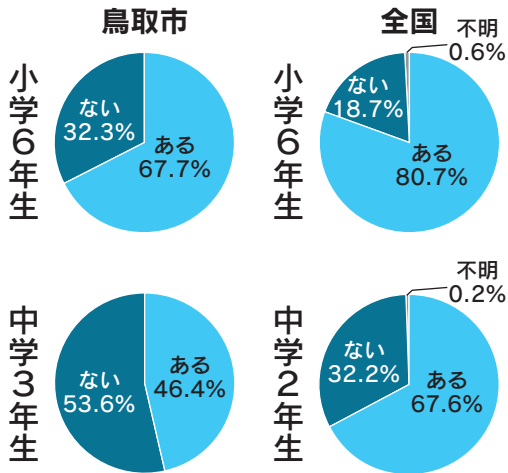
よくないところ



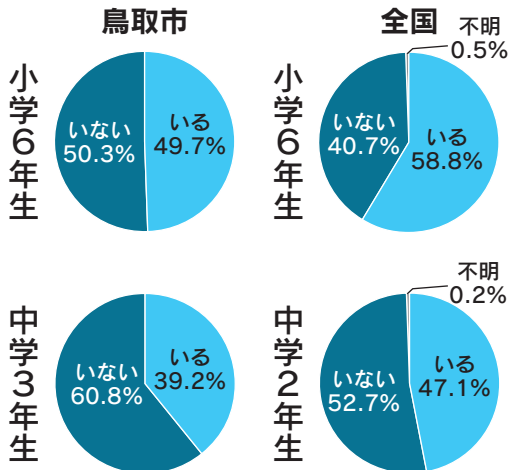
子どもの意識

- 礼儀正しい子が少ない
- 公共心のある子が少ない
- 忍耐づよい子が少ない

問2 将来つきたい職業がありますか？



問3 お手本となる大人がいますか？



※全国のデータは、平成19年国立青少年教育振興機構が調査した「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」による。

鳥取市教育ビジョン（案）

明日を担う人づくり

基本理念

地域社会の一員としての自覚と誇りを持ち、自己実現に向け、たくましく自立して豊かに生きる人づくり

めざす子ども像 検討中

活力ある人材を育てる
ための教育の充実

家庭・地域の
教育力の向上

充実した教育を支える
環境の整備

ますか?」「問3 お手本となる大人がいますか?」という設問については、「ない」「いない」という割合が全国調査より高いという結果が出ています。

これらは、大人と子どもの意識にずれが生じていること、大人が子どもの良き模範となりえていないことを示している

問4 どんなことを身につけておきたい? (子ども) どんな子どもに育てほしい? (大人)

大人の思い

- あいさつや返事ができる子ども
- やさしさのある子ども
- がんばり抜く子ども
- 親や家族を大切にする子ども
- 心身ともに健康な子ども



子どもの思い

- がんばり抜くこと
- 何事にも集中して取り組む
- 自ら考え判断すること
- やさしさ
- 人と仲良く協力できる

めざす子ども像

のではないのでしょうか。

最後に、「問4 どんなことを身につけたいか(子ども)、どんな子どもに育ててほしいか(大人)」を質問したところ、大人はすぐに対応できそうな目標を選び

「めざす子ども像」のための キーワード

立志・夢や希望

たくましさ・勇気・忍耐
役に立つ・思いやり・助け合い
規範意識

郷土で育む
家族を大切にする

ご意見を募集します

「鳥取市の教育に関する意識調査」や「鳥取市教育ビジョン（案）」、「めざす子ども像」について、市民のみなさんのご意見を募集します。意識調査と教育ビジョン（案）は、3月上旬に本市ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

募集期間 3月2日（月）～23日（月）
応募・問い合わせ先

市役所第2庁舎学校教育課

TEL (0857) 20・3366

FAX (0857) 29・0824

MAIL kyo-gakkou@city.tottori.lg.jp

がちで、子どもは自己実現に重きを置いているのが特徴的でした。

これらの調査結果から浮かび上がってくる左記のキーワードを元に、本市の「めざす子ども像」を示した鳥取市教育ビジョンを、今年度中に策定する予定です。